

2023年度 第12回 公立大学法人埼玉県立大学教育研究審議会 議事録

1 承認日

2024年3月4日(月)

2 開催方法

WEB会議

3 参加者

星議長、磯田委員、伊藤委員、林委員、金村委員、常盤委員、東委員、濱口委員、田中委員、國澤委員、山崎委員、久保田委員、河村委員、廣渡委員、柳澤委員

オブザーバー参加: 田口学長補佐兼地域産学連携センター所長、延原情報センター所長

4 事務局

福田副局長、高柳調整幹兼総務担当部長、濱口財務担当部長、酒井施設管理担当部長、小原教務・入試担当部長、関根研究・地域産学連携担当部長、山口企画・情報担当部長

5 議事概要

【議事録確認】

議長から前回の議事録が提示され、内容について確認された。

【審議事項】

(1) 法人規程の改正等について

資料に基づき、高柳調整幹から説明され、案のとおり承認された。

(2) シラバスチェックリストの活用(試行)について

資料に基づき、東高等教育開発センター長から説明され、案のとおり承認された。

○ 今回は形式的なチェックかと思うが、到達目標などの細部に関して、どのように書けばよいかという点については、これからという認識でよいか。

⇒ そのとおりである。2025年度シラバスにおいては、フォーマットの修正等も含めて検討していきたい。

○ 埼玉大学は2024年度に大学改革支援・学位授与機構による認証評価を受審したが、シラバスの内容について詳細なチェックを受け、次のような点について指摘があった。

- ・ 出席そのものを点数にしている
- ・ 授業計画において、授業の回数が足りていない
- ・ 大学院において、授業にもかかわらず研究指導の内容になっている

この点も踏まえてシラバスの相互チェックを行っているところであり、その方法は学部によって異なるが、カリキュラム委員によるチェックや教員それぞれにチェックするシラバスを割

り振っての点検等をしている。

- チェックは形式のみか、それとも内容までチェックするのか。教員には教授の自由があるため、内容まで踏み込めないのではないか。他方、国家試験受験資格を得るための授業科目について、養成課程において必要とされている項目が入っているかの確認は必要かもしれないので、シラバスチェックの仕組み作りの中で検討いただきたい。

⇒ 形式的な部分だけで良いと考えているが、引き続き検討する。

⇒ 例えば積み上げ型のカリキュラムの場合に、基礎科目において教える内容をチェックする必要があるのかと思う。

【報告事項】

- (1)2023年度埼玉県立大学学生調査(卒業生、修了生)について
資料に基づき、山口企画・情報担当部長から報告された。